



林野庁図書館ニュース

発行：林野庁書資料館

TEL：03-3501-0964

令和4年度 森林・林業白書を公表

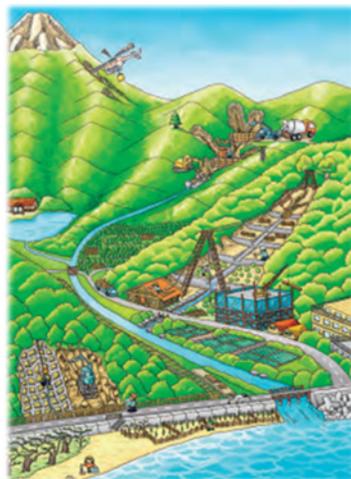
～気候変動に対応したこれからの治山対策に注目！～

5月30日に令和4年度「森林・林業白書」が閣議決定・公表されました。

今回の森林・林業白書では、特集として初めて治山対策を取り上げました。普段は目立たないものの、山崩れなどを防ぐ治山対策が国民の生命・財産を守る役割を果たしていること、さらに近年の気候変動を踏まえた対応を進めていることについて、理解を深めていただける内容となっています。

また、太陽光発電設備の増加に対応した林地開発許可制度の見直しや、しいたけの原産地表示を採取地ではなく植菌地とするルールに改正したことなど、令和4年度の特徴的な動きをトピックスとして取り上げました。

このほか、森林・林業・木材産業の動向について、全国各地の事例を交えて、わかりやすく伝わるよう取りまとめています。



白書の挿絵には林野庁職員 平田美紗子氏のイラストが使用されています。

これまでの森林・林業白書が一括検索できるようになりました！

キーワードを入力すると、文中に含まれている年度の白書が表示されます。ぜひご活用ください。

【ご案内】白書のポイントをまるっと紹介！

「森林・林業白書」説明会

参加費無料・事前登録制

最新白書について、特集の治山対策、令和4年度のトピックスや森林・林業・木材産業の動向を、写真や事例を交えながら林野庁の担当者が分かりやすくご説明します。

〈開催方法〉対面・オンライン併用(全国10ブロックで実施予定)

〈日程〉令和5年7～8月にかけて開催

※お住いの地域にかかわらず、どの回でも参加可能です。

白書の全文、説明会の詳細・申込、一括検索はこちらから



森林・林業白書公式キャラクター きぐりー

白書関連図書のご紹介



図説 空から見る日本の地すべり・山体崩壊



日本各地・世界の地すべり地形・山体崩壊を、1980年代から撮影された貴重な空撮写真と図表でビジュアルに解説。斜面災害を知り、備えるための入門書としても最適。[内容]総説/様々な要因による地すべり/山体崩壊・流山/山体変形/他。

著者：八木 浩司、井口 隆
出版社：朝倉書店(2022年3月)

水文・水資源ハンドブック 第二版



多様な要素が関与する水文・水資源問題を総合的に俯瞰したハンドブックの改訂版。水の問題を考える上で手元に置きたい1冊。
[内容]総論/気候・気象/水循環/物質循環/水と地形・土地利用/気候/観測モニタリングと水文量の評価法/水文量の統計分析/シミュレーションモデルとその応用/気候変動と水循環/水災害/水の利用と管理/水と経済/水の政策と法体系/水の国際問題と国際協力。

編集：水文・水資源学会
出版社：朝倉書店(2022年10月)

地域森林とフォレスター 市町村から日本の森をつくる



フォレスターとして必要な基礎技術、市町村林政の林務体制の作り方、林務政策方針の策定、市町村林務の具体的な先進事例や、国や都道府県レベルではなく、現場に近い市町村林務独特の体制を、多様で膨大な業務に押しつぶされずに作る方策を詳述。

著者：鈴木 春彦
出版社：築地書館(2023年4月)

令和5年度改訂版 森林経営計画ガイドブック



森林経営計画で実際に作成する内容と具体的な記載例から支援措置の受け方に至る森林経営計画のすべてを、図表やイラストを豊富に用いて詳細に解説。各章に設けたQ&A方式の「実務相談室」では、森林経営計画をたてる人の目線から見た疑問点に丁寧にお答えし、資料編には最新の関係法令集を掲載。

編集：森林計画研究会
出版社：全国林業改良普及協会(2023年4月)

新着図書・注目図書のご案内

林野図書資料館は、林野行政・施策部門における専門図書館として、歴史的に貴重な明治・大正期の森林・林業・木材産業に関する資料から森林環境教育等にご活用いただけそうな図鑑や絵本等まで幅広く図書を備え、皆様のご利用をお待ちしております。新着図書や注目図書の一部をご紹介します。

なぜ、脱炭素経営が必要なのか

GX GREEN TRANSFORMATIONへの第一歩



脱炭素に動き始めた世界。環境経営の基礎知識として、なぜ、経営戦略に気候変動が必要なのか、なぜ、脱炭素に取り組まなければならないのか、安易に脱炭素経営の流行に乗ることの危険性、など、脱炭素経営に取り組もうとする企業に向けた入門書。

著者：服部 倫康
出版社：ビジネス教育出版社（2023年3月）

「第3次ウッドショック」は何をもたらしたのか

木材価格、林業・木材・住宅産業への影響とゆくえ



第3次ウッドショックはどうして起きたのか？世界的な背景や我が国の林業・木材・住宅産業の現状を整理しながら読み解き、それらの影響を踏まえつつ、適性丸太価格や製材の生産性向上、サプライチェーンマネジメントの形成確立など、林業界の課題解決に向けた方策や推奨事例を紹介し、今後の行方について提言します。

著者：遠藤日雄
出版社：全国林業改良普及協会（2023年3月）

植物の知恵 —その仕組みを探る—



植物は生活の場所を移動することができないことから、厳しい環境下でも生き抜くための“知恵”を具備している。本書は、“植物の知恵”の研究で世界をリードしてきたレジェンドたちが、最新の“植物の知恵の仕組み”を解説する。

編者：植物生理化学会 監修：長谷川宏司
著者：田幡憲一、宮本健助、曾我康一、山村庄亮、中野洋、上田純一、横山峰幸、丹野憲昭、後藤伸治
出版社：大学教育出版（2023年2月）

明治神宮100年の森で未来を語る

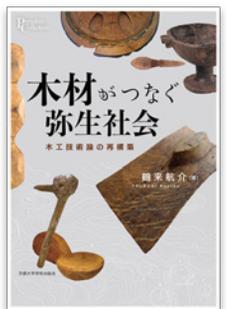
Mの森連絡フォーラム全記録



「明治神宮鎮座百年祭記念シンポジウム」の記録集。2020年に鎮座100年を迎えた明治神宮の森から未来への提言。「M」から始まるキーワードをテーマに宗教、建築、グラフィックデザイン、美術、文学、服飾、歴史、自然科学、まちづくり…と、さまざまなジャンルから38名が登壇し、明治神宮100年の歴史から未来へのメッセージを読み解く。

編集：明治神宮国際神道文化研究所
出版社：鹿島出版会（2023年1月）

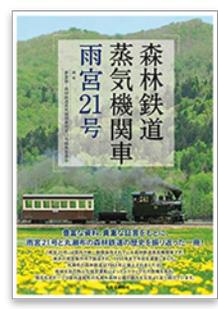
木材がつなく弥生社会：木工技術論の再構築



弥生社会は木材資源の大量消費社会であり、石器・金属器以上に弥生人の生活をかたちづかった。そこに残された技術の痕が、森と集落、また集落同士の関係を解き明かす鍵となる。石器、金属器に依拠して語られがちな弥生社会の姿を、後景に退いていた木工技術論が塗りかえる。

著者：鶴来航介
出版社：京都大学学術出版会（2023年2月）

森林鉄道蒸気機関車雨宮21号



「雨宮21号」は国内で唯一動態保存されている森林鉄道蒸気機関車。東京の雨宮製作所で製造され、1957年まで木材を運搬した。本書では雨宮21号や丸瀬布の森林鉄道の貴重な写真や資料をふんだんに使いながら、その歴史を振り返る。往時の森林鉄道を記憶する住民の証言を収集したほか、郷土史家や機関士からの聞き取り、全国の鉄道ファンからの寄稿文も掲載した保存版。

編集：夢里塾、森林鉄道蒸気機関車雨宮21号編集委員会
出版社：北海道大学出版会（2022年12月）

林業マンガやイラストをぜひご活用ください！

さまざまなイベントでの展示やパンフレットとして。オフィスで、お店で、木材利用をお考えのみならず。こどもたちに森や林業のことを伝える教材として。森林や林業に興味を持っていただくきっかけづくりのひとつとして、林野図書資料館では、どなたも自由にご利用いただける森林・林業のまんが・イラストをご用意しております。お気軽にお問い合わせください。

林野図書資料館の森林・林業のまんが掲載ページは[こちら](#)



林業漫画「お山ん画」

樹木漫画「リン子の絵日記」



現場漫画「林業よススメ！」

職業漫画「人to木」～人と木をつなぐ仕事～



連絡先：林野庁企画課林野図書資料館（国立国会図書館支部林野庁図書館）

代表：03-3502-8111（内線6060）ダイヤルイン：03-3501-0964

HP：<http://www.rinya.maff.go.jp/j/tosyo/index.html>

